

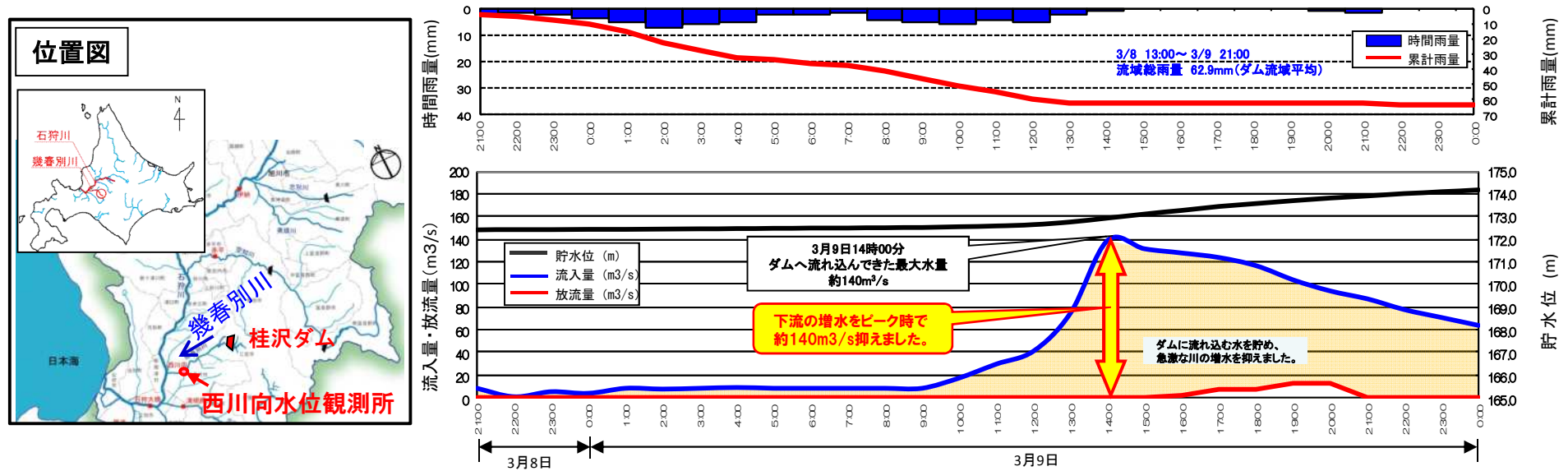
ダム整備が効果を発揮（北海道 桂沢ダム）（国管理）

かつらざわ

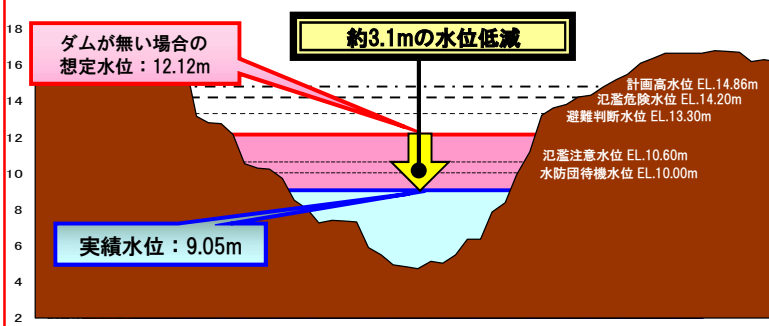
- 平成30年3月8日～9日の低気圧による降雨とそれに伴う融雪により、桂沢ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 桂沢ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の岩見沢市（西川向水位観測所）では、水位を約3.1m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫注意水位※を上回る出水となったことが想定されます。

※ 氾濫注意水位：住民に対し、氾濫に関する情報への注意を喚起するための水位。

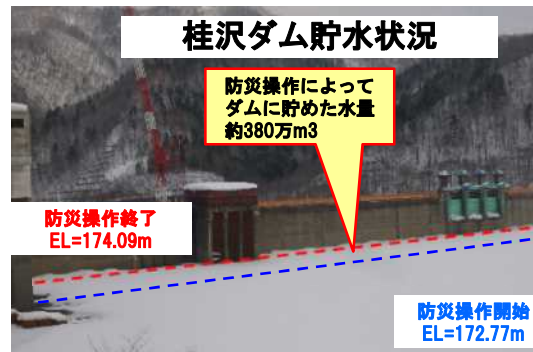
桂沢ダムの防災操作



西川向水位観測所地点における水位低減効果



桂沢ダム貯水状況



西川向水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。